

大切なのは、発想の転換。
大変に思えることも
実はチャンスかもしれない。

入社した2005年は創業5年目ということもあり、女性社員は少なく役職者もいなかった。SEとして官公庁へ常駐していた大山さんの転機は結婚と出産を迎えた時だ。「辞める想像がなかったんですね。でも自分から、続けさせてください」とは言えなくて…そんな時、社長が「制度がないならつくればいいよ」と言っただけなんです」と振り返る。育休復帰後は内勤にシフトし、営業事務やコンプライアンスの知識を磨く。2児の子育てと仕事を両立しながら2016年主任に昇格。この春からは部長として社内潤滑油となりながら経理や総務などより広い業務を把握する。

多忙な業務や初めての仕事で追い込まれそうになった時のモットーは「発想の転換」。「新しい知識を得るチャンスですし、自分にとってプラスになる経験かもしれない。大変なことでも別の視点を見つければ、受け止め方が変わります」。若い社員にも、初めての仕事をやみくもに拒否するのではなく、まずは挑戦して欲しいと願う。「最初は完遂できなくても、できていることは必ずあります。それを積み重ねていけば最初の自分とは別の場所にいるはず」とエールを送る。

仕事に家事に動かしむ自分を受け止め、多くを求め過ぎず包んでくれる家族の存在も支え。職場でも自宅でも大好きな切り花を身の回りに飾り、さりげない喜びを散りばめる。



PROFILE : 大山 葉子さん : 株式会社ザイナス 大分本社
: YOKO OYAMA : 管理本部 管理部長

おおいた女性活躍推進宣言企業

ある日のスケジュール
One day schedule

6:30 起床	自分と夫の弁当作り。朝ご飯は夕食の残りも上手に活用して時短	18:00 退勤	
8:30 出勤	メールチェックや契約書確認など重たい仕事は午前中に	19:00 夕食作り	副菜は週末に作りだしておくので汁物、メイン、サラダを調理
12:00 昼食		20:00 夕食	
13:00 打ち合わせ	実務系の業務や資料づくり	21:00 子どもの宿題丸付け 洗濯など	
		23:00 ビデオ鑑賞	大好きなワインを飲みながら

わたしを支えた言葉
The words that supported me

制度がないなら

つくればいい

—— 社長
会社で初めて育休を取得した時に掛けてもらった言葉です。

2~3日いいよ

仕事は任せて

—— 同僚
娘が小さい頃入院した時のこと。信頼関係の大切さを実感しました。

遅くなっても

気にしないで

—— 家族
忙しい時は残業もあるけど…こんな言葉があるから頑張れます。



そろそろ

挑戦してみない?

—— 上司
役職の話軽く言われたので重く受けとめずに「じゃあチャレンジしてみようかな」と思えました。

さよなら

傷だらけの日々よ

—— B'z
自分をごんじがらめにしてるのは、実は自分。この曲に出逢って発想を変えられるように。

わたしの必需品
My essentials

01. 薬関係
02. 携帯電話
03. 子どものお薬手帳や診察カード
04. 化粧ポーチ
05. 弁当
06. 財布